

# 河川環境の評価手法について

平成30年6月28日

国土交通省 水管理国土保全局 河川環境課

# 専門委員会での主な意見と今後のスケジュール

## 河川環境の評価手法に関する専門委員会 委員構成

座長	大野 栄治	名城大学都市情報学部 教授
委員	井元 智子	東北大学大学院農学研究科 准教授
	高木 朗義	岐阜大学工学部社会基盤工学科 教授
	寺脇 拓	立命館大学経済学部経済学研究科 教授
	吉田 謙太郎	九州大学エネルギー研究教育機構 教授

### 主な意見

・仮想的市場評価法（CVM）におけるアンケートの最大提示金額が支払提示額（WTP）に与える影響については記載の通りでよいが、アンケートにおける最大提示額とWTPの評価結果の関係性を分析すると、この分野に大変有益な知見となると思う。

・母集団が少ない場合、郵送調査等では、標本が偏る場合があるため、事務局の提案のとおり、マニュアルに適切に補正を行うことを記載することで良い。

・トラベルコスト法（TCM）における時間価値の算出方法について、過去の研究では、余暇の時間価値について補正係数を採用している例があるが、算定方法に正確な根拠があるわけではない。当該研究の進捗を見て対応を検討すべき

・費用便益分析における消費税の取扱いについて、旅行費用は「消費税を控除した時間価値」と「消費税を含んだ移動費用」で算出することになるが、回答者が、移動費用の実際の支払いの一部に消費税が含まれていると認識しているか否かによって答えが変わる。そのあたりは当該分野の研究の進捗を待つことになると思う。

・・・etc

年度	月	専門委員会	検討スケジュール	備考	
H29年度	3	●			
H30年度	4		↑ 検討 ↓		
	5				
	6		↑ 素案作成 ↓		
	7				
	8	↑※		マニュアル(※)改定素案を提示 ※河川環境に係る環境整備の経済評価の手引き	
	9	↓	↑ 改訂に向けた修正等 ↓		
	10			総務省フォローアップ(※) ※公共事業に係る政策評価の点検結果のフォローアップ	
	11				
	12				
		1			
		2	↑※		
		3	↓		マニュアル改定

※座長と進め方について相談のうえ、開催

●・・・実施済